



新入生の皆さんへ



塾長 清家 篤

新入生の皆さん、入学おめでとう
ございます。皆さんの入学を心から
歓迎します。

慶應義塾の創立者、福澤先生は、
『学問のすゝめ』や『文明論之概略』な
どの著作の中で、学問の重要性を繰
り返し説きました。明治維新前後の、
社会の大きく変化するときに、学問
によって日本を近代化させ、アジア
に押し寄せてきた西欧列強から、日
本の独立を守ろうとしたのです。

今日もまた、私たちは大きな変化
の時代を生きています。日本のおか
れた状況は福澤先生の生きたときと
は異なりますが、変化の時代を学問
によって乗り切っていかなければな
らないのは同じです。特に大切なの
は学問によって、自分の頭で考える
能力を身につけるということです。
変化の時代には、新しい状況を自
ら理解し、その理解にもとづいて問
題を解決することが求められます。
考えるべき問題を見つけ、その問題
がなぜ起きているのかを考え、その

考えが正しいかどうかを検討し、解
決策を導く、ということです。

実はこれは学問のプロセスに他な
りません。学問によって真理を知る
ことができると同時に、自ら考える
能力が身につきます。

どうか幅広く学問を学んでくださ
い。それによって事物の真の姿を理
解し、かつ学問的思考方法とは何か
が分かります。そして自分で研究テ
ーマ(問題)を見つけ、その問題に
ついての仮説(自分の考え)を作り、
その仮説を学問的に認められた方法
で検証し結論を導くという学問の作
業を実行してみてください。

学問的思考能力は課外活動でも養
われます。スポーツ選手は試合に勝
つという課題を抱え、そのために最
良の戦術を考え、それを練習で試し、
試合で結果を出しています。このこ
とは文化系、芸術系の課外活動でも
同じです。そのような課外活動も含
めて、慶應義塾で思う存分学問を楽
しんでください。